

株式会社 全国商店街支援センター  
平成29年度 商人塾支援事業  
(事業報告書概要版)

## 実施機関:金沢商工会議所(石川県金沢市)

### 参加商店街:8商店街、行政

(諸江地区商業協同組合、玉川町通り商店街振興組合、近江町市場商店街振興組合、森本商店街振興会、金沢城兼六園商店会、武蔵商店街振興組合、片町商店街振興組合、竪町商店街振興組合、金沢市役所)

コーディネーター:小西 正行 氏(株式会社 PR ENGINE 専務取締役)

## 商店街の活性化に向けた「後継者育成」「個店の魅力アップ」

商店街に求められるリーダーについて

商店街活性化のための個店の魅力アップについて



## カリキュラム

第1回

題名:金沢市内の商店街の現状と課題  
講師:多田 年成 氏(株)マネジメントワークス代表取締役)

第2回

題名:次世代商店街リーダーの育成に向けた地域ネットワーク、  
地域資源の活用  
講師:多田 年成 氏(株)マネジメントワークス代表取締役)

第3回

題名:商店街として各個店の魅力度をアップする方策  
「商店経営・情報戦線」、次世代の「商店街リーダー」  
=繁盛店主となる人材の共通項  
講師:加納 光 氏(商売科学研究所 所長)

第4回

【現地調査研修】  
題名:先進商店街の取組み 集客のために若手リーダーと動ける商店主  
講師:岡田 さや加 氏(岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会 副理事長)  
視察先:柳ヶ瀬商店街(岐阜県岐阜市)

第5回

題名:商店街活性化のために必要なことは  
それぞれの商店街での取組み～ これまでのまとめと卒論制作に向けて ～  
講師:小西 正行 氏(コーディネーター)

第6回

【卒塾式】

## 想い

商店街が抱える大きな問題は、「需要創出をいかに図るか」、「経営者の高齢化等による後継者難」、「魅力ある店舗が少ない」、そして「今後の商店街を担う若手が少ない」などが挙げられ、厳しい状況に直面している。

これらの問題を解決することが商店街の活性化につながるものと考え、商人塾事業を実施した。

## ねらい

大きく3つのポイントがある。

- ①個店のみならず、商店街自体を牽引し、課題に対し決断力・行動力のあるリーダーの育成
- ②個店の魅力アップが商店街の活性化につながるという意識の下、想像力・発想力のある人材の育成
- ③商店街間、世代間あるいは関係団体間でのネットワークの構築を推進し、互いに協力しあえる資質を持った人材の育成

この3つを主目的とし、個店や商店街が活性化していくことを期待し実施した。

また、現地調査においては、若手リーダーを活用した集客力向上、および創業の場として商店街を活用した事例から、今後の各商店街での具体的事業の材料を学んだ。



## コーディネーターから



小西 正行 コーディネーター（株）PR ENGINE 専務取締役）

- ・塾生が客観的に所属する商店街の実情を把握、分析できるよう実例を挙げて指導するとともに、自らが自発的に発言、交流できるよう議論に加わり、一人ひとりの様子をうかがいながら発言を促した。
- ・卒塾論文作成にあたっては、自らの考えを具現化できるよう、ここまでの講義、視察内容の再確認やそれぞれの商店街が持つ特徴、歴史などを再認識し、塾生が先頭に立って商店街の活性化に取り組むべきポイントを説明した結果、塾生一人ひとりが个性的かつ意欲的なビジョンを持つまでにいたり、今後の塾生皆さんの活動を楽しみにしている。

## 今後に向けて

- ・若手の塾生は、どこか参加させられている雰囲気、初めは「ほとんど活動に参加していない」、「商店街に言われて参加している」などの発言があったが、回を重ねるに連れて「ビジョンの作成に必要なことは何か」、「自分と同世代の組合員に声を掛けてみたい」などと主体的発言に変化し、次世代リーダーとしての自覚が芽生え始めたと感じられた。
- ・意欲は高まってきた一方、手法や知識面ではまだまだ不足しているところも多く、具体的活動のイメージが掴みきれていない塾生もいることも事実であり、また、若手の塾生については、商店街内での同意にまで繋がられないといった課題も残っている。
- ・こうした状況を踏まえ、当事業が単発で終わることのないよう、次世代リーダー育成をテーマにしたフォローアップ事業を検討するとともに、当事業で繋がった交流を自発的なものだけに任せるのではなく、当所としても積極的に支援し、塾生が具体的活動に繋がられるよう、各商店街とも各種事業を通じて連携を強化していきたい。

## 卒塾生代表



**堀田 浩文 氏（片町商店街振興組合 常務理事）**

- ・商人塾に参加したことにより、商店街の活性化には、まず自分の商店街の「資産」を見つめ直すことが重要だと気付くことができた。それぞれの商店街が持つ歴史や特色の価値を上げる、リニューアルするなど、課題を明確にしていくことで活性化に繋がると思う。
- ・そして、商店街の新たな役割の創出や、商店街を牽引するリーダーに必要な見識、迅速な意思決定、ネットワークを作るためには、常日頃から同世代と交流を深めること、語り合うことを心掛けていきたい。